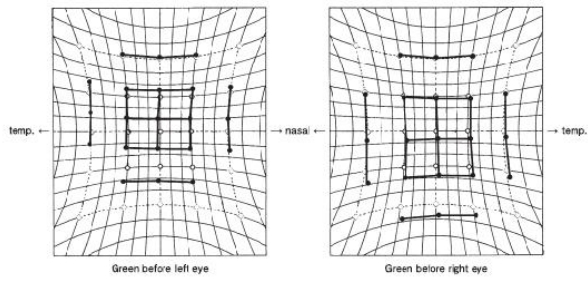


第 42 回 問題 63 Hess 赤緑試験の結果を図に示す。

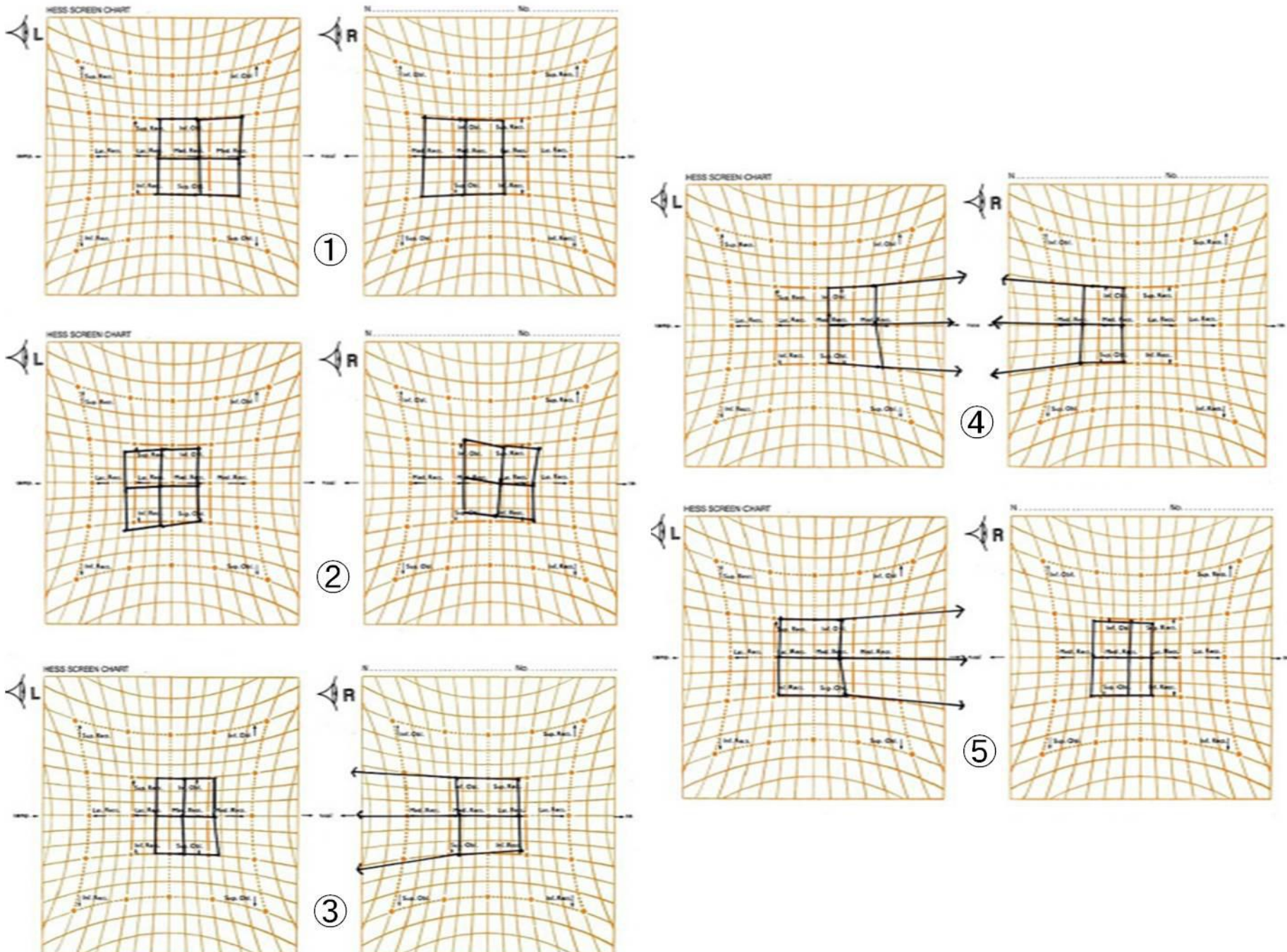


正しいのはどれか。2つ選べ。

1. V型斜視である。
2. 右眼上斜視である。
3. 共同性斜視である。
4. 下方視で複視が増大する。
5. 右眼の複像が上に見える。

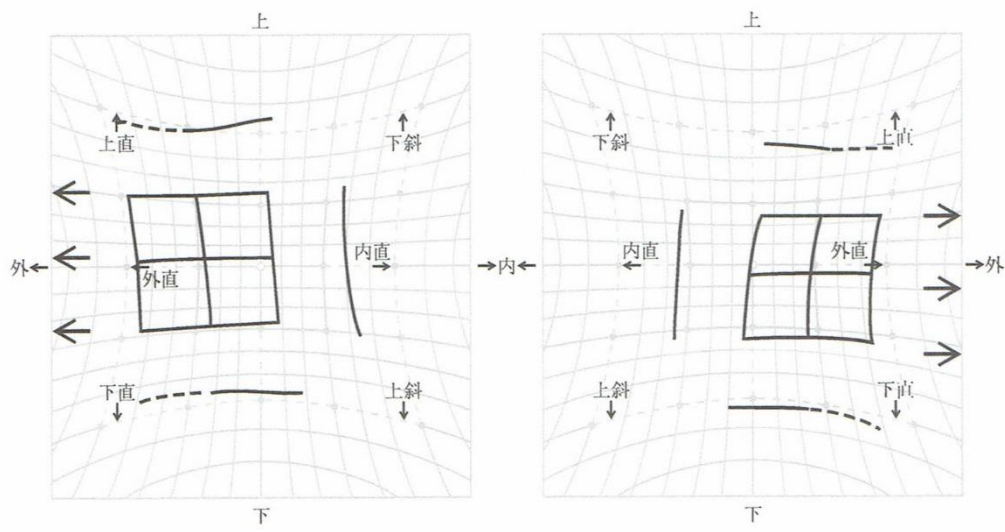
第 44 回 問題 145 40 歳の女性。1 か月前からものが二重に見えることを主訴に来院した。右への顔の回転が軽度あり、視力は右 1.2(矯正不能)、左 0.2(1.2×-2.50D)で、左眼内斜視である。Hirschberg 法は右眼固視+15°、左眼固視+10°で、複像間距離は左方視より右方視で広がる。Hess 赤緑試験(別冊 No.4①~⑤)を別に示す。得られる結果はどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤



第47回 問題50 Hess 赤緑試験の結果を示す。この患者について正しいのはどれか。

1. 内直筋後転の適応
2. あご引きの自然頭位
3. Worth 灯試験で交差性複視
4. 基底外方プリズム眼鏡の適応
5. 交代プリズム遮閉試験で右眼上斜視



第48回73 38歳の男性。_か月前に受傷した頭部交通外傷後の意識障害に対して集中治療室で治療を行った。覚醒後から継続する複視の精査のため眼科紹介受診となった。受診時のHess赤緑試験の結果.別冊No. 60を別に示す。受傷直後から観察されないのはどれか。

1. 外斜視
2. 右眼瞼下垂
3. 右眼下転制限
4. 上方視時の右眼内転
5. 右眼直接対光反射消失

